



建設業の魅力発信！ 高校生を対象とした 建設工事現場見学会を開催

建設業界は、社会資本の整備・メンテナンスを担っているだけでなく、災害時の応急対応や冬期間の除雪など、地域社会の安全・安心を確保する守り手として、なくてはならない存在です。

そこで、山形県建設業協会米沢支部と山形県置賜総合支庁建設部は、将来の建設業界を担う若手技術者の就業促進、さらには地元定着を図ることを目的に、建設業に関する理解を深め、その魅力を感じてもらう取組として、県立米沢工業高等学校の1年生72名を対象に「建設工事現場見学会」を令和4年6月24日(金)に開催しました。



ICT建機の操作体験

当日は、4箇所の工事現場等を訪問し、そのうちの1箇所である一般国道287号米沢川西バイパス道路改良工事の現場では、衛生的で安全に配慮した現場環境が整えられていることや、ICT建機※の導入により測量や丁張(施工の目印)設置等の手間を大きく削減できることなどを紹介したうえで、作業員の指導のもとICT建機の操作も体験しました。

生徒たちは意欲的に工事現場の実態を見て、聞いて、触れて、実りある見学会となりました。今後も同様の機会を設け、建設業の魅力発信を継続してまいります。

※ICT建機・・・リアルタイムのGPS位置情報により動作を自動制御・補助する重機

■ 建設総務課 技術調整担当 電話0238-26-6099



衛生的な現場環境

8月3日からの大雨による被害について

8月3日(水)から4日(木)にかけて、県内では初となる大雨特別警報が置賜地域を中心に県内7市町(米沢市、南陽市、高島町、川西町、長井市、小国町、飯豊町)に発令され、また記録的短時間大雨情報も3市町(長井市、小国町、飯豊町)で発表されるなど、これまで経験をしたことのない豪雨に見舞われました。線状降水帯による大雨は置賜地域に甚大な被害をもたらし、その全貌はまだ掴めていません。道路、河川、農地等に加え、水道や鉄道などライフラインにも甚大な被害が及び、生活に極めて大きな影響が出ており、復旧には長い時間を要すると考えられるものも数多くあります。できるかぎり早期に復旧が実現できるよう、置賜総合支庁としても全部局、全職員の総力を結集し、全力で対応してまいります。(令和4年8月5日時点)



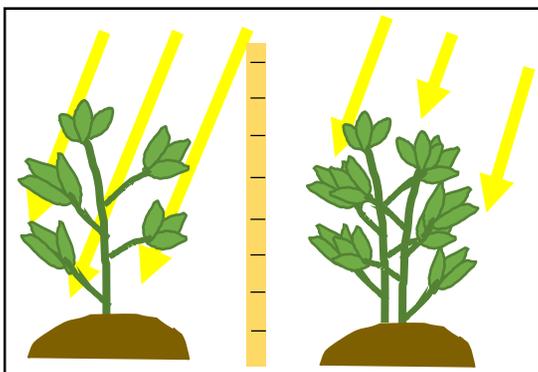
主要地方道 長井飯豊線 大巻橋崩落状況(飯豊町小白川)

産地研究室だより

～良食味かつ高収量が実現できる枝豆栽培を目指して～

山形県では枝豆の産出額日本一を目指し、「枝豆プロジェクト」を進めています。今回は、当室がプロジェクトの一環で取り組んでいる研究「枝豆の栽植密度の検討」についてご紹介します。

枝豆は、株間を大きく空けて植えると葉に光が十分当たることから、食味が向上することが知られています。一方、株間を空けすぎると植えられる株数が少なくなり、収量が下がります。そこで、食味と収量の両方が良くなる栽植密度について、植付け本数や株間などの条件を変えながら検討しています。



植付け本数が違つと、枝豆が受ける光の量も変わってきます。光は食味や収量に影響を及ぼします。

生育期間中は、光の量を測るセンサーを用いて、上手く光を取り入れているのはどの栽植密度なのかを調べます。収穫時期には、枝豆の食味成分や収量を計測し、双方のデータを比較します。令和6年度までの3か年の研究で成果を出すのが目標です。



センサーを枝豆の群落の中に入れて、地表0cmから80cmまでの光の量を計測します。

■ 農業技術普及課 産地研究室 野菜担当
電話0238-47-2115

摘んで、食べて、若者に伝えたい“うこぎ”の魅力！



7月2日(土)、若い世代に山形おきたま伝統野菜の「うこぎ」の魅力を知ってもらおうと、米沢栄養大学の学生を対象とした「うこぎDEランチ」出前講座(主催:うこぎの町米沢かき根の会)が3年ぶりに同大において開催されました。

当日は、米沢うこぎ振興協議会長の尾形健明先生の講演の後、内藤農園で「うこぎ」の新梢を摘み、味どころふる山の古山裕喜氏の指導のもと、定番のお浸しのほかパスタや春巻きなど若者向けのメニューの調理にも取り組みました。

今回学んだ学生が将来管理栄養士となり、「うこぎ」の魅力を全国に広めてくれることに、関係者一同期待を寄せていました。

■ 農業振興課 生産流通担当 電話0238-26-6051

綱木川ダム見学 ～小学生がダムの役割を学んでいます！～

綱木川ダムでは団体向けに説明付のダム見学を行っています。主に小学校の社会科見学を受け入れており、小学生からは「楽しい、また来たい」「大きくて驚いた」などの感想を頂き好評です。少人数でも自由見学は可能ですので、大自然の中一息つきに訪れるのはいかがでしょうか。



近況では6月27日(月)に県内各地で大雨が降り、本ダムは竣工15年で初の洪水調節が行われ、ダムに入って来る水の約8割を貯めて下流河川の水位低減に効果を発揮しました。



■ 河川砂防課 ダム担当 電話0238-26-2231

ようこそ、源流の森へ！

源流の森インタープリター(森の案内人)養成講座



6月25日(土)、源流の森で活動する森林ボランティア「源流の森インタープリター(森の案内人)」の養成講座を開催しました。当講座は、「森の案内方法」や「安全研修」など近年のアウトドアに関するニーズとマッチする内容となっており、若い年代(10代～40代)を中心に、参加者が増加傾向にあります。今回は、7名の新たなインタープリターが誕生しました。

今後、9月23日(金・祝)には、森林資源の循環利用を学び、森づくり活動を指導する人材の養成を目的とした、「植える・育てる」講座を開催しますので、興味のある方の御参加をお待ちしております。

■ 森林整備課 森づくり推進室
森づくり担当 電話0238-35-9053

スマート農業研修会を開催！～農作業の省力化、効率化を目指して～

農業の担い手不足や高齢化が急速に進む中、農作業の省力化、軽労化を図り少ない労力で高い生産性の実現を目指す「スマート農業」への期待が高まっています。

置賜・西置賜農業技術普及課では、JA山形おきたまと共催し、置賜地域の稲作中心の生産者・関係機関を対象としたスマート農業研修会を7月28日(木)に開催しました。研修会では、取組み事例の紹介や圃場データ管理システム、農業用無人車等の説明、実演を行いました。

今後も農業が抱える課題解決に向け、スマート農業の推進や普及を図っていきます。



■ 農業技術普及課 作物担当 電話0238-57-3411

ただいま開催中！

旬の山形おきたま伝統野菜あがやえフェア in SUMMER



置賜地域の伝統野菜を気軽に味わえる「旬の山形おきたま伝統野菜あがやえフェア in SUMMER」を開催中です。

7月16日(土)～8月28日(日)までのフェア期間中、置賜地域の13の飲食店や菓子店で、「おかひじき」、「うこぎ」、「紅大豆」、「窪田なす」、「畔藤(くろふじ)きゅうり」、「ハツ房(やつふさ)なす」などの伝統野菜を洋食やスイーツにアレンジして提供しています。

また、「山形おきたま伝統野菜加工品詰合せ」が当たるプレゼント企画も実施していますので、ぜひこの機会に置賜が誇る伝統野菜の魅力をお楽しみください。



ハツ房なすのクロックムッシュ
(リストラップテ喜石工門)

※ あがやえフェアの詳細はこちらから →



■ 農業振興課 生産流通担当 電話0238-26-6051

市町村派遣職員レポート

置賜総合支庁総務課 から 高畠町商工観光課へ (派遣職員 高山さん)



高畠町 商工観光課 商工振興係 主事 高山 京平 さん

☆写真は県立東桜学館高等学校の生徒のみなさんが、探究活動として高畠町コワーキングスペースについて高山さんに取材している様子

今年度4月より高畠町商工観光課にお世話になっています。商工振興係として、町内事業者の皆様への支援金給付等の業務を担当しており、町民の方々と直接やりとりをする場面も多いため、市町村職員としてのやりがいを感じています。

また、4月にオープンした「高畠町コワーキングスペース」の管理、運営も行っておりますので、新しい働き方をする多様な人材の活躍の場として多くの方々に御利用いただきたいと考えております。

■ 総務課 職員係 電話0238-26-6005

廃棄物適正処理・3R推進ポスターを募集します！

環境課が事務局を務める置賜地区不法投棄防止対策協議会では、廃棄物の適正処理・3Rの普及啓発を図ることなどを目的に、置賜地域の小学4年生から中学3年生を対象とした、「廃棄物適正処理・3R推進ポスターコンクール」を開催します。

優秀作品には、賞品を進呈のほか不法投棄防止啓発用のポケットティッシュや看板のデザインとして活用します。また、応募者全員に参加賞を進呈します。

8月31日(水)まで作品を募集していますので、ぜひ奮ってご応募ください。コンクールの詳しい内容は、[山形県のホームページ](#)をご覧ください。



置賜 廃棄物 ポスター



3R(スリーアール)とは？

Reduce(リデュース):「ごみになるものを減らす」

Reuse(リユース):「繰り返し使う」

Recycle(リサイクル):「資源の再利用」

の3つの「R」の総称のこと。

■ 環境課 廃棄物対策担当 電話0238-26-6034

《令和3年度廃棄物適正処理・3R推進ポスターコンクール受賞作品》

- (1)最優秀賞(小学生の部) 「これぜんぶリサイクルできます」
長井市立長井小学校 4年 加藤 愛梨 さん



- (2)最優秀賞(中学生の部) 「見慣れてはいけない光景」
米沢市立第二中学校 2年 斎藤 永遠 さん



「夏の省エネ・節電にチャレンジ」してみませんか？

～素敵な賞品ゲットのチャンス～

山形県では、家庭での省エネ・節電の取組みを報告すると素敵な賞品が当たる「家庭のアクション」への参加を8月から受付中です(抽選は11月と2月に実施)。

パンフレットは、各総合支庁ロビーに設置のほか、[山形県地球温暖化防止活動推進センター\(NPO法人環境ネットやまがた\)](#)のホームページからダウンロードできます。

夏は冷房器具の使用などにより、エネルギー消費量が増える時期です。毎日の生活の中で、冷房時の室温は28℃を目安にする、テレビを見ない時や不要な照明はこまめに消

すなどの家庭での節電の取組みを始めてみませんか。

なお、この夏も新型コロナウイルス感染症予防のため、適度な換気を行いながらの適切な室温管理が必要となります。節電を行うときは、健康に配慮し、無理のない範囲での取組みをお願いします。 [ホームページはこちらから↓](#)



◎YOC

■ 環境課 環境企画・自然環境担当
電話0238-26-6035



能楽金剛流 つなぐ三世代おやこの共演 ～和泉流 野村万蔵家とともに～



能「土蜘蛛」は蜘蛛の精が糸を繰り出すなどの派手な演出が見どころ。狂言「萩大名」では歌を詠めない大名のカンニング疑惑が喜劇となっていて笑えます。初めての方にもとても分かりやすい演目が揃った公演を、ぜひお楽しみください。

- 日時:9月10日(土)14時開演
- 会場:伝国の杜置賜文化ホール(米沢市丸の内1-2-1 TEL:0238-26-2666)
- 入場料:全席指定 前売り 一般3,500円 学生2,000円
※5才から入場可、託児あり(有料、事前申込制)
- チケット:伝国の杜にて好評発売中

■総務課 連携支援室 電話0238-26-6019

9月10日から16日は「自殺予防週間」

置賜地域で令和2年に自殺で亡くなられた方は31人です。自殺の原因はひとつではなく、経済・生活・健康・家庭等の問題が複雑に絡み合っています。

自殺に至る直前、多くの方は「うつ病」等の精神疾患を発症していると言われ、病気により正しい判断ができない状態になっています。自殺予防のためには、早い段階で心の状態に気づく必要があります。

“眠れない”、“憂うつだ”、“好きなことが楽しめない”などの症状は心の不調のサインかもしれません。

置賜保健所では、保健師の他に精神科医師による相談も行っています。ひとりで悩まず、まずはご相談ください。



■置賜保健所 地域保健福祉課 精神保健福祉担当
電話0238-22-3015

毎月19日は「減塩・野菜の日」です！

平成28年県民健康・栄養調査によると、山形県民は目標値より多く塩分を摂取し、野菜摂取量は1日の目標値の350gより約70g不足している状況です。



肥満や生活習慣病などを予防し、健康な生活を維持するために、減塩+野菜摂取量増を目標に日々の食事を見直してみませんか。

県のホームページ「[地域食生活・健康情報ステーション](#)」には、日々の健康づくりに役立つレシピも掲載されています。

ぜひご覧ください。 ホームページは [こちら](#) →



■保健企画課 健康長寿推進担当
電話0238-22-3004

“明るいやまがた”夏の安全県民運動実施中！

7月22日から8月21日までの1か月間、“明るいやまがた、夏の安全県民運動”を実施しています。運動の重点は次の4点です。

- 1 青少年の健全育成といじめ・非行及び犯罪被害防止
- 2 子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅
- 3 海・山・川での事故防止
- 4 身近な犯罪等の防止

“安全で明るいやまがた”に向けた取り組みをよろしくをお願いします。



■総務課 防災安全室
電話0238-26-6007

庁舎の節電にご協力ください

ただいま置賜総合支庁本庁舎では、職員による節電の取り組みとして、室内や廊下、トイレ等の必要ない箇所の消灯やエレベーターの使用自粛を行っています。

また、冷房の適切な使用やロビーにおける不要な箇所の消灯も実施していますので、ご来庁の皆さまにおかれましては、取り組みへのご理解とご協力をお願い申し上げます。

よろしく申し上げます

エコ節電実施中



■総務課 総務係 電話0238-26-6003